



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 大東銀行 上場取引所 東
コード番号 8563 URL <https://www.daitobank.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 鈴木 孝雄
問合せ先責任者 (役職名) 経営部長 (氏名) 菊田 浩宗 TEL 024-925-3872
配当支払開始予定日 —
特定取引勘定設置の有無 無
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,909	0.5	1,846	12.6	1,242	10.6
2024年3月期第3四半期	9,858	△0.2	1,640	△17.4	1,122	△3.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △2,236百万円(－%) 2024年3月期第3四半期 931百万円(－%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	98.06	—
2024年3月期第3四半期	88.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	871,897	35,883	4.0
2024年3月期	876,894	38,515	4.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 35,001百万円 2024年3月期 37,644百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,600	△7.2	1,900	0.4	1,200	△4.4	94.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	12,701,462株	2024年3月期	12,701,462株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	47,824株	2024年3月期	13,934株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	12,665,691株	2024年3月期3Q	12,677,263株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 2024年度第3四半期決算説明資料（単体ベース）	
(1) 損益の状況	8
(2) 金融再生法開示債権の状況	9
(3) 時価のある有価証券の評価差額	9
(4) 自己資本比率（国内基準）	10
(5) 預金、貸出金等の残高	11

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の業績については以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金の増加に伴う資金運用収益の増加により、前年同期比51百万円増加して99億9百万円となりました。

経常費用は、国債等債券売却損の減少等に伴うその他業務費用の減少により、前年同期比1億54百万円減少して80億62百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比2億6百万円増加して18億46百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比1億19百万円増加して12億42百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の財政状況については、総資産は8,718億円、純資産は358億円となりました。

また、主要勘定については、以下のとおりとなりました。

預金（譲渡性預金を含む）は、前年度末比366億円増加して8,286億円となりました。

貸出金は、前年度末比96億円増加して6,623億円となりました。

有価証券は、前年度末比87億円増加して1,403億円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期（通期）の業績予想（連結及び個別）につきましては、当初予想（2024年5月10日公表）計数から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
現金預け金	72,280	48,860
有価証券	131,632	140,389
貸出金	652,621	662,312
外国為替	39	40
リース債権及びリース投資資産	2,610	2,644
その他資産	8,635	8,933
有形固定資産	10,031	9,856
無形固定資産	645	582
退職給付に係る資産	507	518
繰延税金資産	128	195
支払承諾見返	426	524
貸倒引当金	△2,665	△2,961
資産の部合計	876,894	871,897
負債の部		
預金	721,878	751,940
譲渡性預金	70,146	76,710
借入金	40,215	200
その他負債	3,283	4,374
賞与引当金	185	48
退職給付に係る負債	1,007	1,017
睡眠預金払戻損失引当金	90	74
偶発損失引当金	149	126
再評価に係る繰延税金負債	996	996
支払承諾	426	524
負債の部合計	838,378	836,013
純資産の部		
資本金	14,743	14,743
資本剰余金	1,294	1,294
利益剰余金	24,683	25,543
自己株式	△15	△27
株主資本合計	40,706	41,553
その他有価証券評価差額金	△4,804	△8,283
土地再評価差額金	1,724	1,724
退職給付に係る調整累計額	17	6
その他の包括利益累計額合計	△3,061	△6,552
非支配株主持分	871	882
純資産の部合計	38,515	35,883
負債及び純資産の部合計	876,894	871,897

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
経常収益	9,858	9,909
資金運用収益	6,481	6,902
（うち貸出金利息）	5,626	5,827
（うち有価証券利息配当金）	780	1,000
役務取引等収益	2,076	1,824
その他業務収益	849	837
その他経常収益	450	344
経常費用	8,217	8,062
資金調達費用	26	328
（うち預金利息）	22	287
役務取引等費用	1,003	1,074
その他業務費用	1,822	800
営業経費	5,299	5,465
その他経常費用	66	393
経常利益	1,640	1,846
特別利益	-	1
固定資産処分益	-	1
特別損失	7	3
固定資産処分損	7	3
税金等調整前四半期純利益	1,633	1,844
法人税、住民税及び事業税	387	548
法人税等調整額	107	42
法人税等合計	495	591
四半期純利益	1,138	1,253
非支配株主に帰属する四半期純利益	15	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,122	1,242

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,138	1,253
その他の包括利益	△206	△3,490
その他有価証券評価差額金	△196	△3,478
退職給付に係る調整額	△10	△11
四半期包括利益	931	△2,236
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	915	△2,248
非支配株主に係る四半期包括利益	15	11

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
(1) 外部顧客に対する 経常収益	8,842	789	9,632	240	9,872	△14	9,858
(2) セグメント間の内 部経常収益	23	1	24	17	42	△42	—
計	8,866	790	9,657	258	9,915	△56	9,858
セグメント利益	1,566	28	1,595	45	1,641	△0	1,640

（注）1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード事業、信用保証業であります。

3 外部顧客に対する経常収益の調整額△14百万円は、貸倒引当金戻入益の調整であります。

4 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

5 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業務	リース業務	計				
経常収益							
(1) 外部顧客に対する 経常収益	8,845	841	9,687	229	9,916	△7	9,909
(2) セグメント間の内 部経常収益	24	1	25	16	41	△41	—
計	8,869	843	9,713	245	9,958	△48	9,909
セグメント利益	1,781	39	1,820	26	1,847	△0	1,846

（注）1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、クレジットカード事業、信用保証業であります。

3 外部顧客に対する経常収益の調整額△7百万円は、貸倒引当金繰入額の調整であります。

4 セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去であります。

5 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
減価償却費	313百万円	436百万円

3. 2024年度第3四半期決算説明資料 (単体ベース)

(1) 損益の状況

経常収益は88億69百万円 (前年同期比3百万円増加)、経常利益は17億81百万円 (同 2億14百万円増益)、四半期純利益は12億9百万円 (同 1億21百万円増益) と前年同期比増収増益の決算となりました。
増益の主な要因は、貸出金利息や有価証券利息配当金の増加に伴う資金利益の増加や、国債等債券売却損の減少等に伴うその他業務利益の増加によるものです。

(単位：百万円)

	No.	2024年度 第3四半期 (9か月間) (A)	2023年度 第3四半期 (9か月間) (B)	比較 (A) - (B)	〈予想値〉 2024年度 通期 (12か月間)
経常収益	1	8,869	8,866	3	11,300
業務粗利益	2	7,050	6,248	802	
資金利益	3	6,572	6,451	120	
役務取引等利益	4	545	864	△319	
その他業務利益	5	△66	△1,068	1,001	
(うち国債等債券損益)	6	△67	△922	855	
経費 (除く臨時処理分)	7	5,240	5,075	164	
うち人件費	8	2,603	2,605	△1	
うち物件費	9	2,270	2,095	175	
実質業務純益	10	1,810	1,172	637	
コア業務純益	11	1,877	2,094	△217	
コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	12	1,789	2,027	△237	
①一般貸倒引当金繰入額	13	△27	—	△27	
業務純益	14	1,837	1,172	665	
臨時損益	15	△56	394	△450	
②不良債権処理額	16	352	23	329	
株式等関係損益	17	166	206	△39	
その他臨時損益	18	129	210	△81	
③うち偶発損失引当金戻入等	19	22	15	6	
経常利益	20	1,781	1,566	214	1,800
特別損益	21	△2	△6	4	
税引前四半期純利益	22	1,779	1,559	219	
法人税、住民税及び事業税	23	532	366	166	
法人税等調整額	24	37	105	△68	
法人税等合計	25	570	472	98	
四半期 (当期) 純利益	26	1,209	1,087	121	1,200
与信関連費用①+②-③	27	302	8	294	

（2）金融再生法開示債権の状況

当四半期末の金融再生法ベースのカテゴリーによる開示債権額は、2024年9月末比3億円増加して269億円、開示債権比率は同0.04ポイント減少して4.04%となりました。

(単位：億円)

	2024年12月末			2024年 9月末	2023年 12月末
		2024年 9月末比	2023年 12月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	51	3	13	48	38
危険債権	208	0	14	208	194
要管理債権	10	△1	△2	11	12
合 計	269	3	25	267	244
開示債権比率	4.04%	△0.04%	0.30%	4.08%	3.74%

(注) 記載金額は単位未満を四捨五入して表示しております。

（3）時価のある有価証券の評価差額

当四半期末のその他有価証券の評価差額は、77億円の評価損となりました。

(単位：億円)

(参考)

(単位：億円)

	2024年12月末				2024年9月末				2023年12月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	1,394	△77	18	96	1,388	△60	17	77	1,353	△54	14	68
株式	48	15	16	0	44	11	13	1	37	8	8	0
債券	1,231	△79	0	79	1,215	△60	1	61	1,110	△48	1	49
その他	114	△14	2	16	127	△11	3	14	205	△13	4	17

(注) 各四半期末の「評価差額」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額（償却原価法適用後、減損処理後）と時価との差額を計上しております。

（4）自己資本比率（国内基準）

当四半期末の自己資本比率は、連結で9.98%、単体で9.75%となりました。

（単位：百万円）

	【連結】				
	2024年12月末	2024年9月末比		2024年9月末	2023年12月末
		2024年9月末比	2023年12月末比		
(1) 自己資本比率（(4) / (5)）	9.98%	0.03%	0.06%	9.95%	9.92%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	41,803	312	623	41,491	41,180
(イ) うち、普通株式に係る株主資本の額	41,553	324	980	41,229	40,573
(ロ) うち、その他の包括利益累計額	6	△3	10	9	△4
(ハ) うち、一般貸倒引当金	244	△8	△157	252	401
(ニ) うち、土地再評価差額金	—	—	△122	—	122
(ホ) うち、負債性資本調達手段等	—	—	—	—	—
(ヘ) うち、非支配株主持分	—	—	△87	—	87
(3) コア資本に係る調整項目の額	771	△12	39	784	731
(4) 自己資本の額（(2) - (3)）	41,032	324	583	40,707	40,448
(5) リスク・アセット等の額の合計額	411,133	2,120	3,613	409,013	407,519
(6) 総所要自己資本額（(5) × 4%）	16,445	84	144	16,360	16,300

（単位：百万円）

	【単体】				
	2024年12月末	2024年9月末比		2024年9月末	2023年12月末
		2024年9月末比	2023年12月末比		
(1) 自己資本比率（(4) / (5)）	9.75%	0.04%	0.08%	9.71%	9.67%
(2) コア資本に係る基礎項目の額	40,414	318	666	40,095	39,748
(イ) うち、普通株式に係る株主資本の額	40,191	327	941	39,863	39,249
(ロ) うち、一般貸倒引当金	222	△9	△152	232	375
(ハ) うち、土地再評価差額金	—	—	△122	—	122
(ニ) うち、負債性資本調達手段等	—	—	—	—	—
(3) コア資本に係る調整項目の額	743	△12	15	755	728
(4) 自己資本の額（(2) - (3)）	39,670	330	651	39,339	39,019
(5) リスク・アセット等の額の合計額	406,792	1,894	3,633	404,897	403,158
(6) 総所要自己資本額（(5) × 4%）	16,271	75	145	16,195	16,126

（5）預金、貸出金等の残高

預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金及び公金預金などを中心に残高が増加したことから、2024年9月末比141億円増加して期末残高8,294億円となりました。また、投資信託を中心に預り資産残高も増加したことから、総預金＋預り資産残高は、2024年9月末比174億円増加して期末残高9,661億円となりました。

貸出金は、事業性貸出が増加したことなどから、2024年9月末比132億円増加して期末残高6,635億円となりました。

① 預金残高（末残）

（単位：億円）

	2024年12月末		2024年9月末	2023年12月末
	2024年9月末比	2023年12月末比		
総預金（譲渡性預金を含む）	8,294	141	8,153	8,195
うち個人預金	5,562	79	5,483	5,509

② 預り資産残高

（単位：億円）

	2024年12月末		2024年9月末	2023年12月末
	2024年9月末比	2023年12月末比		
預り資産合計	1,366	32	1,333	1,310
投資信託	711	36	674	585
公共債	59	1	58	57
個人保険	595	△5	601	667

（参考）

総預金残高（末残）＋預り資産残高

（単位：億円）

	2024年12月末		2024年9月末	2023年12月末
	2024年9月末比	2023年12月末比		
総預金＋預り資産	9,661	174	9,486	9,506

③ 中小企業等貸出金比率

（単位：億円）

	2024年12月末		2024年9月末	2023年12月末
	2024年9月末比	2023年12月末比		
貸出金	6,635	132	6,502	6,489
うち中小企業等貸出金	4,922	71	4,850	4,948
中小企業等貸出金比率（%）	74.17	△0.41	74.58	76.25

④ 個人ローン残高

（単位：億円）

	2024年12月末		2024年9月末	2023年12月末
	2024年9月末比	2023年12月末比		
合計	2,893	12	2,881	2,803
うち住宅ローン	2,725	11	2,713	2,637
うち消費者ローン	168	0	168	166

以 上